

県内百貨店・主要小売店5月実績

●百貨店	売上高		客数
岐阜高島屋	14.2		▲2.2
●小売店	売上高		客数
	全店	既存店	
バロー	6.1	5.1	2.0
Vドラッグ	4.6	2.9	1.4
ホームセンターバロー	1.3	▲1.1	▲3.0
セリア	8.1	5.0	4.7
ヒマラヤ	▲8.0	▲11.4	▲13.5

※数字は前年同月比の増減率。▲はマイナス。ホームセンターバローはホームセンターバローなど3社の合計

県内に拠点を置く百貨店・主要小売店の5月上高実績（速報値、小売店は全店売上高）は、6社のうち5社が前年同月を上回った。

岐阜高島屋は7月31日の閉店が迫る中で、客入りは好調だが、前年にあった再開発ビル「柳ヶ瀬グラスル35」の開業イベントの反動減で前年割れ。売上高は2カ月連続の前年同月比2桁増だった。

バローは顧客ニーズを捉えた価格戦略が奏功し、集客



百貨店小売店 5月の売上高 5社が前年上回る

売り上げともに好調に推移する。大型連休や母の日に合わせた集客策も当たった。Vドラッグは気温が高いシーズンに対応した殺虫剤やUVケア化粧品などが伸長した。ホームセンターバローは店舗業態によって波が見られる。

セリアはハンドメイドやメークグッズといった上位商品に変化はない。掃除グッズをはじめ、生活に密着した日用品の需要が高まっている。

ヒマラヤは物価高騰による買い控えが続く中、競合各社とのアパレル製品の値下げ競争に苦戦した。野球やテニス用品は好調に推移している。